

国際交流つうしん



P.2 まちで見つける世界の扉～松戸市編～



P.4 国際フェスタCHIBA

目次

- P.2 まちで見つける世界の扉 ～松戸市編～
- P.3 私の子育て in JAPAN
- P.4～5 事業報告（令和4年7月～10月）
今後の行事予定
- P.6 JICA千葉デスクのページ ～木村のキルギス里帰り～
- P.7 JICAニュース&協力隊レポート
- P.8 世界からようこそ千葉県へ！ ～中華人民共和国～

広告

「日本語を教える」としたら **スリーエーネットワーク**



日本語支援を受ける、外国につながるのある中学生を対象とした日本語教科書
シリーズ3冊目！

中学生のにほんご 教科編
—外国につながるのある生徒のための日本語—

理科・社会・数学といった「学校の教科書」を理解する力を伸ばすための教材です。同シリーズの『学校生活編』『社会生活編』も好評発売中。

庵功雄 監修 志村ゆかり 編著
志賀玲子・関口真理恵・武一美・永田晶子・ピアルケ千咲 著
2,200円(税込) B5判

最新刊や教材の使い方セミナーの情報等は <https://www.3anet.co.jp/>



広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は **出入国在留管理局への出頭が免除**されるので、**仕事や学業に専念**することが可能です。

お問い合わせは…

 **千葉県行政書士会**

www.chiba-gyosei.or.jp/

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号
TEL: 043-227-8009 FAX: 043-225-8634



まちで 見つける 世界の扉

～松戸市編～

今回お邪魔したのは松戸市。松戸市にお住まいの外国人の方は、16,752名（R3.12末日/千葉県国際課）で、千葉県内の市町村の中で第3位です。

108号の取材では、特に美味しいベトナム料理・食材店が多いと話題の新松戸駅周辺、10月3日にオープンした東京出入国在留管理局松戸出張所、外国人市民と日本人市民の交流や多文化共生を推進する（公財）松戸市国際交流協会に行ってきました。



108号 取材担当：
千葉県国際交流センター 浅井&清水

ソンセンレストラン

温かいご家族が経営する本格的なベトナム料理店

JR新松戸駅から徒歩7分ほどのところにあるソンセンレストラン。1階はベトナムの食材を扱う商店で、靴を脱いで2階に上がるとアットホームな雰囲気のレストランになっています。フォーやバインミーなど日本人にもおなじみの料理だけではなく、モツやアヒル、ベトナムハムなど本格的なメニューがたくさんありましたが、今回はお店のお勧めの様々な部位のホルモンをふんだんに使った“ホルモン・メン”、日本人にも食べやすいという“牛・ブンボー”という麺料理を頂きました。どちらも断面の丸い“ブン”を使ったつるつるした麺で、あっさりとしたスープに香味野菜が爽やかに薫ってとても美味しかったです！小さいお子さんにも食べやすい“魚介揚春巻き”も頂きましたが、カリッと揚げられて魚介の風味もよく、箸が止まりませんでした。ベトナムの方が多く訪れる本格的なベトナム料理、ぜひトライしてみてください！

ソンセンレストラン 千葉県松戸市新松戸1丁目217 2F TEL：047-718-7469



（公財）松戸市国際交流協会

松戸市国際交流協会（MIEA）ってどんなところ？

松戸駅より徒歩約4分の松戸市文化ホール内にあるMIEA。おしゃべりを楽しめるサロンスペースが設けられたオフィスで、元気で明るいスタッフのみなさんが笑顔で迎えてくださいました。事業内容としては、松戸市国際文化祭、姉妹都市交流などの市民と外国籍市民の交流を促進する活動、K-POPダンスや世界の料理を学ぶ教室、語学講座など市民の国際理解を促進する活動、日本語教室や外国人日本語スピーチコンテストなどの外国籍市民の生活・教育を支援する活動など国際交流や多文化共生を推進するための数多くの取り組みを行っています。どなたでもウェルカムのオープンで暖かな雰囲気でした。みなさんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



事務局長 渡邊武様にお話を伺いました

渡邊事務局長によれば、MIEAでは、「より多くの外国籍市民に松戸のことを知ってもらい、同時により多くの日本人に松戸にしながら世界のことを知ってほしい」とコロナ禍でも工夫を凝らし、様々な交流イベントや多文化共生への取り組みを行っているそうです。お話を聞いた中で、特に印象的だったのは、学生など若い世代の日本人と外国籍市民の交流や子ども向けのイベントなどに積極的に取り組まれていること。「留学生はいずれ国に帰ってしまうかもしれないが、松戸で素晴らしい経験をしていただければ、それが長い目で見れば松戸により形づつながっていくのではないかと」、「小さな子どもたちにも少しでも外国のことに興味を持ってもらいたい」など、一つ一つの事業の裏にある渡邊事務局長の熱い思いと松戸への愛を感じました。ありがとうございました！

公益財団法人松戸市国際交流協会 千葉県松戸市松戸1307-1 松戸ビルヂング4階 TEL：047-711-9511

東京出入国在留管理局 松戸出張所

東京出入国在留管理局 松戸出張所が令和4年10月3日にオープンしました！

松戸駅より徒歩約3分のキテミテマツド8階に、茨城県の一部地域や千葉県の北西部の外国人の利便性を大幅にアップさせる松戸出張所がオープンしました。明るい雰囲気の出張所では、スタッフのみなさんが丁寧に在留関係の申請に対応されました。授乳室も完備され、外国人ママでも安心して申請に行くことができます。森田所長にお話を伺ったところ、松戸やその周辺地域を観光してもらったり、ますます便利になったこの地域に外国から多くの方に来ていただいて、地域の交流・発展につながるような出張所にできたらとのことでした。とても温かい雰囲気でも、緊張せずに手続き出来そうな空間でした。窓口受付時間は9時から16時（土日祝日を除く）、取扱業務は在留関係諸申請・在留資格認定証明書交付申請、分担地域は千葉県及び茨城県です。ぜひご利用ください！



東京出入国在留管理局松戸出張所 千葉県松戸市松戸1307-1 キテミテマツド8階 TEL：047-701-5472

私の子育て in JAPAN



ちば出前講師として小・中・高校や公民館など様々なところで台湾の紹介をしてくださっている范萱苡（はんけんい）さんは、日本で子育てに奮闘されています。外国出身ママにとって、異国での子育てはどのようなものなのでしょう。范さんに、日本での子育てについてお話を伺いました。

范萱苡さんプロフィール

2013年台湾から来日し、千葉大学工学部博士後期研究生としてガラス工房、地域づくりを専門に学ぶ。2016-2019年に千葉県のチーバくん大使、2020年よりチーバくんパートナーとして千葉の魅力を発信や暮らしやすい県づくりに協力。また、千葉県での東京2020パラリンピック聖火リレーのランナーを経験したほか、千葉県国際交流センターの多文化共生講座等の出前講師として活動するなど台日間の交流活動などを行っている。



1. お子さんが生まれるまでのことを教えてください。

千葉大学の交換留学生として来日しましたが、1年間の交換留学の間に結婚し、妊娠が判明して日本での妊婦生活が始まり、台湾に帰国せず日本に滞在することになりました。

日本に来たばかりでまだ日本語があまりできなかったのですが、妊婦健診時には中国語が話せる韓国出身の友人に付き添ってもらい、お姉さんがいるようで心強かったです。

2. 范さんは台湾で里帰り出産をされたそうですが、台湾での出産はどのようなものでしょうか。

台湾では、産後1カ月母親がじっくり静養する「坐月子（ズオユエズ）」という習慣があります。目的は、出産を終えたお母さんがきちんと休んで、栄養を取り、心身を回復させること。私も出産1週間後で退院し、その足で向かった先は、病院に併設している産後ケアセンターでした。ホテルのような個室があり、赤ちゃんはベビールームで看護師さんが世話をしてくれますが、いつでも会いに行くことができ、一緒に部屋で過ごすこともできました。食事は、月子食と呼ばれる薬膳を基本とした食事が提供されます。私はケアセンターを2週間利用しました。

3. 子育てで大変だったことは何ですか？

息子が早く日本語を習得できるようにと保育園に入園させることにしましたが、入園にあたり私のアルバイト探しも始まりました。日本語があまりできなかったため、何度も面接に落ちてしまい辛かったです。

2歳から保育園に入れましたが、今でも子どもがいじめられないかと心配になることがあります。保育園や小学校で学校からのおたよりをもらっても、持ち物など何を用意してよいのかわからないこともよくあり、そのせいで息子たちがひどい目に遭わないか心配で、心が痛くなることもありました。



4. 台湾語や台湾の文化などをお子さんたちにどのように教えていますか？ お子さんたちに台湾のことをどのように感じてもらいたいですか？

家で子どもに台湾語で話したり、台湾の学習ドリルなどをやらせたりしているママ友もいるけれど、うちの元気のりのりの男の子には無理です。今は日本語を学ぶことに専念させ、子供が台湾語や台湾の文化などに興味をもつようになるまで待とうと思います。

子どもに私自身が手本を示し、彼らの興味を引き出すために、色々な国際交流活動をしています。特に、出前講師として日本の学校で台湾を紹介する活動では、多くの日本の子どもたちに台湾のことに興味を持ってもらっています。私の子どもたちにも、講座用の台湾紹介スライドなどをたまに家で一緒に見ながら台湾のことを教えています。



5. 外国ルーツのお母さんたちに伝えたいことがありましたら、教えてください。

子供を育てるのは一人ではできません。ママ友やFB、LINEグループにも結びつければ、支えてくれると思います。育児は苦勞ばかりだけど、子どもが親の背中を押してくれ、子どもたちがいるから私も強くなったのではないかと思います。進歩は行動抜きにはありえない。まず、自分自身を愛することを忘れないでね。あなたの輝きを失ったりしないで。あなたは自分が思うよりも勇気があり、強く、スマートだよ。

◆国際フェスタCHIBA 7月23日（オンライン開催） ※一部の講座はハイブリッド）

県内の国際交流・協力団体の活動を紹介したり、外国人と日本人の交流を促進したりするイベント”国際フェスタCHIBA”をオンラインで開催しました。ゲームを通して異文化を学ぶ講座や、JICA海外協力隊の現地レポート（カンボジア・ルワンダ）、団体活動紹介動画配信は全てオンライン、英語・日本語落語、メキシコ・ベトナム出身のちば出前講師によるお国紹介は対面式とのハイブリッドで行いました。対面でもオンラインでも双方向のコミュニケーションができ、参加者のみなさんには国際交流を楽しんでいただけたようでした。



◆地域日本語教育推進事業 調整会議 9月8日（オンライン開催）

千葉県の地域日本語教育推進事業の円滑な実施のため、具体的な進行方法や来年度の実施計画について、委員と共に検討しました。大学や日本語教育有識者、市町村国際交流協会の関係者の貴重な意見、現場の声を元に、より効果的な事業の実施に向けて協議しました。

◆日本語学習支援者フォローアップ講座 9月7日・10月12日（@幕張テクノガーデン）

地域で活動されている日本語学習支援者の方々を対象に、活動のヒントを学ぶ講座を開講しました。支援活動の対象者別に〈生活者への支援活動編〉〈子どもへの支援活動編〉と題し、総勢38名の方にご参加いただきました。対面での講座開催は3年ぶりで、グループワークを交えながら、大いに盛り上がりました。



子どもへの支援活動編の様子

9月7日 生活者（大人）への支援活動編

「人・社会とつながる日本語学習支援
～「対話」を重視した教室活動のヒント～
嶋田 和子 氏
（一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事
『できる日本語』シリーズ 監修）

10月12日 子どもへの支援活動

第1部：「千葉県外国人児童生徒等教育に関する取組について」
千葉県教育庁教育振興部 学習指導課
第2部：「みんなで考える外国につながる子どもへの支援活動
～多様な子どもへの多様な支援のあり方～
志村 ゆかり 氏
（一橋大学非常勤講師 『中学生のにほんご』シリーズ 編著者）

志村氏編著の最新本
『中学生のにほんご 教科編
—外国につながるある
生徒のための日本語—
の詳細は表紙をご覧ください。

◆日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in 千葉県 10月～11月（全5回／オンライン開催）

本講座では、外国出身の学習者の背景、「多文化共生」とは何か、外国人との相互理解、やさしい日本語を通じたコミュニケーション等について講義・グループワークを通し、学び、考えます。今年度の第1期（in南房総）に引き続き、支援活動対象地域を千葉県全域に広げて開催しました。地域での多文化共生の実現に向け、受講者の皆様の今後の活躍が期待されます。

全5回シリーズ
オンライン開催



担当者のこだわり！

私は大学で日本語教員養成課程を修了しました。それまでは、‘多文化を知る’ことや‘日本語（文法）を教える’経験はしてきましたが、地域日本語教育の現場の声を聞く中で、それだけでは不十分であると認識しました。現在は、相手の文化を理解して共生することが大切であり、地域日本語教室での対話活動を通してそれが可能であると思っています。
地域日本語教室が多文化共生のきっかけの場となるよう、各種支援者養成講座を通して、その魅力が伝わるよう努めています。



（国際フェスタCHIBAにて）
担当者：漆畑咲陽子
（地域日本語教育事業担当）

◆語学ボランティア講座 国際会議コース 10月22日 (@幕張メッセ)

当財団MICE事業部が誘致をする国際会議をサポートする語学ボランティア向けの講座を実施しました。幕張メッセの案内デスクを想定し、5カ国6名の外国人講師にゲスト役になってもらい「携帯を失くした!」とパニックになっていたり、「京都に行きたいんだけど…」と唐突に質問された時にどうするかをチームで考えて、英語で対応するロールプレイを行いました。エクスカージョン先となっている見浜園では、グループごとにガイドを聞きながら、外国人講師と交流しながら散策しました。



◆令和4年度 多文化共生開発講座

9月13日(火)・16日(金)・20日(火) @船橋市立葛飾中学校
 10月6日(木) @千葉県立千葉盲学校
 10月28日(金) @市原市立南総中学校

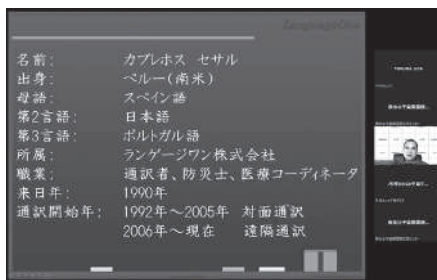
(一財)自治体国際化協会の助成を受け、小学生が外国人との交流を通じて多文化共生を体験できる講座を令和2年度から実施しています。今年度は中学生以上を対象として、講師の来日前と来日後の行動や考え方の変化に触れ、個人の多様性を理解するカードゲームを活用した講座を実施しました。ペルーでは「パーティに時間通りに来られると困る」、パキスタンでは「買い物は戦いだ」、「インドネシアでは断食をしないといけないが、日本ではしなくてもいいから楽」など日本ではあまり聞かないユニークなエピソードで、生徒さんたちも楽しみながら異国の多様性を体感していました。



◆国際交流・協力等ネットワーク会議 10月26日 (オンライン開催)

千葉県と共催で、市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体等の担当者を対象とした会議を行いました。

千葉県・千葉県国際交流センター・JICA東京の事業説明の後、ペルー出身のカブレホス・セサル氏による「多文化共生のための情報伝達について」をテーマとしたミニセミナーを行い、最後に「外国人の教育・進学支援」と「外国人住民への効果的な情報提供」のテーマ別に分かれて意見交換会を行いました。今後も、いろいろな団体が連携し、県内の多文化共生や国際交流活動が促進されるよう、ネットワークを広げていきたいと思えます。



今後の行事予定

事業	内容	時期(予定)
多文化共生開発講座	外国人講師による出身国の紹介と、ディスカッション等を中心としたクラス授業の実施	随時
地域日本語教育関係者ミーティング	日本語学習支援の活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るための会議	12月23日
外国人相談基礎研修	在住外国人の生活支援に役立つ、基礎的事項を学ぶ講座	1月
外国人相談担当者意見交換会	県内の外国人相談担当者向けの講演・意見交換会	1～3月
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座	1月

千葉県国際交流センターHP&SNS

千葉県国際交流センターでは、センター主催のイベントや県内の国際交流・協力団体の情報のほか、各種相談窓口や日本語教室のリストなど、外国の方にも役に立つ情報をホームページで紹介しています。またFacebook・Instagram・Twitterで最新情報も発信していますので、ぜひご覧ください。

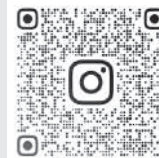
HP



Facebook



Instagram



Twitter



JICA千葉デスクだより ～木村のキルギス里帰り～

JICAの千葉県での窓口として日々県内のあちこちにお邪魔して、国際協力や多文化共生の推進に奮闘中の木村明日美が、協力隊時代の任地、キルギスに3年ぶりに行ってきました！なかなか日本人になじみのない国、キルギスの魅力や里帰りの様子をご紹介します！

①キルギス共和国の概要

キルギス共和国は中央アジアに位置し、かつてはシルクロードの一部であったり、遊牧民族が駆け回っていたり、ソ連の一部でした。面積は日本の半分ほどで、人口は千葉県民より少し多いくらいです。国土の4割が3,000m以上に位置している山岳国で、手つかずの美しい自然も沢山見られるため「中央アジアのスイス」とも呼ばれます。国民の約9割がムスリムで豚肉は食べませんが、ソ連の影響がウオッカなどのお酒はよく飲みます。キルギスには「かつて日本人とキルギス人は兄弟だった」という言い伝えがあるほど、両国民は見た目が似ており、キルギス人は日本にとっても友好的です。今年、キルギスと日本は国交30周年を迎えました。



※外務省ホームページより引用

②里帰りをしてきました！

私は2017年～2019年の2年間、首都ビシュケクからマルシュルートカ（バス）で6時間東に向かったところにあるアクスー県の村の児童館で図工や日本語を教えていました。その間、村でホームステイをしたり同僚家族の家に泊まりに行ったりして、第二の故郷、家族ができました。帰国後、また行きたいと何度も思っていました。新型コロナウイルスの影響で行けず、2022年10月に3年ぶりにキルギスに「里帰り」をしました！キルギスに私が行くことは現地の知り合いにはほとんど秘密でしたが、サプライズで私が登場すると、元同僚たちも元生徒たちもホストファミリーも大喜びで迎えてくれました。



夏の間は山の草原に移動式住居を建てて家畜を育てる人もいます。



結婚式の様子。出席者は300名程。

③キルギスのパーティー文化

キルギスはパーティーが盛んな国なので、8日間の滞在で3回パーティーに参加しました。

【誕生日パーティー】まずは、ホストファミリーのお嫁さんの誕生日パーティー。お嫁さん自身がプロフ（中央アジア炊き込みご飯）やサラダを作り、私も近くの町でケーキや食べ物を買って、家族で和やかに祝いしました。しかしその後親戚が続々と押し寄せ、ケーキや肉が増えていきます。最終的には日付を越えた頃にお開きになりました。

【結婚式】結婚式は夕方6時から日付けを越えて行われ、食べて踊ってを繰り返します。

長時間ですが、有名歌手が登場したり、ダンサー集団が踊ったり、大量の景品がある男女別ゲームや新郎親族と新婦親族の対抗ゲームなどもあり、全く退屈しません。

【部屋を買ったパーティー】キルギスではおめでたいことがあると、その人がホストとなってパーティーを開きます（以前「冷蔵庫を買ったパーティー」もありました）。今回は同僚が部屋を買ったということで、新居の床にシートを敷いて食べ物を敷き詰め、お祝いの言葉を一人言う度に全員でウオッカをあおり、締めには前日に屠った羊の骨付き肉とベシバルマックという伝統料理を食べるキルギススタイルのパーティーを行いました。



部屋を買ったパーティー。男性が解体しているのは、茹でられた羊の頭部。

④この3年間での変化

3年前と一番変わったことと言えば、以前は首都の主要なところだけにあった分別ゴミ箱が、地方の町にまで普及していたことです。家庭ゴミに関しては、今も首都でも分別なく回収されていますし、村ではすべてペチカ（暖炉）で燃やしています。しかし村にもペットボトル回収ボックスが設置されていたり、町ではいたるところに分別ゴミ箱がありました。小さな国にも関わらず大気汚染が進むキルギスですが、環境意識が変わっていているのを感じました。



町中の分別ゴミ箱。ロシア語・キルギス語・絵もあり、わかりやすい。

JICAニュース ～JICA海外協力隊の秋期募集開始～

新型コロナウイルスの影響でここ数年は開発途上国での受け入れ体制や要請不足で募集数も応募者数も減少していましたが、今年春の募集ではコロナ前と同じ水準で応募がありました。またJICAとしても、来年度中に派遣隊員の規模をコロナ前に戻すことを目標に、11月から秋募集を行います。協力隊にご関心のある方はぜひ、対面型の募集説明会にご参加ください。

<千葉県内での募集説明会概要>

11月20日(日) 14:00～16:00 会場：船橋ツインビル西館6階

11月26日(土) 14:00～16:00 会場：浦安市国際センター プラザマーレ2階

12月4日(日) 14:00～16:00 会場：TKP千葉駅東口ビジネスセンター4階

詳細や申込は、「JICA海外協力隊 説明会」で検索、JICA海外協力隊公式HPから。

協力隊レポート <北川諒隊員/千葉市出身/ラオス派遣>

活動地：ラオス

ビエンチャン県バンビエン郡ファイバモン村

職種：コミュニティ開発

<どんなことをしているのか>

私は今、森林減少の緩和や周囲の住民の生計向上を目的とするフォレストリー・トレーニング・センターで、日本から伝わった手漉き紙やうちわをつくるグループの広報に力を入れています。生産者の仕事を手伝いながら、発信すべき情報を集める日々です。写真は紙布となる紙糸を草木で染めているところです。手工芸品グループは現在、様々な課題に直面しています。例えば市場情報の不足、運転資金の不足、後継者不在、ラオスでは作れない道具の老朽化など。センターの職員と私は、それらを解決するために展示会の参加、オンライン販売、子ども向けのワークショップを進めている最中です。



現地のオススメの食べ物

任地の村人に愛されている料理と言えば「パーピン」（現地語で「焼き魚」）。写真の魚は「パーニン（ティラピア）」です。魚に塩をすり込んで、臭み消しのレモングラスを口に挿し込み、七輪で網焼きするのが一般的です。焼きあがった魚は「パデアク」というラオスの魚醤につけて食べます。写真の魚を獲った場所は、任地で暮らす人々の拠り所「ナムグム湖」。村人たちは本職が漁師でなくても舟を所有しており、旬の時期は多くの村人が舟で「ナムグム湖」に漕ぎ出します。たくさんの村人がナムグム湖に浮かぶ舟の上や土手から投網する光景は圧巻です。



JICAについての問い合わせはコチラまで

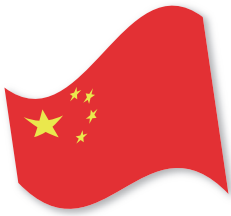
千葉県国際交流センター内 JICA千葉デスク

国際協力推進員 木村 明日美

TEL：043-297-0245 / 090-4024-0441

FAX：043-297-2753 E-mail：jicadpd-desk-chibaken@jica.go.jp





世界からようこそ千葉県へ!

中華人民共和国



※外務省ホームページより引用

今回は、出前講師として、千葉県国際交流センターの講座やイベントで中国の紹介をしてくださっている章昊娟（しょうこうえん）さんに、出身の武漢市について、ガイドブックには載っていないお勧め情報などを教えていただきました。

皆さん、こんにちは。中国出身のショウです。5年前来日しました。今は日本でアパレル業界で働いています。どうぞよろしくお願いいたします。

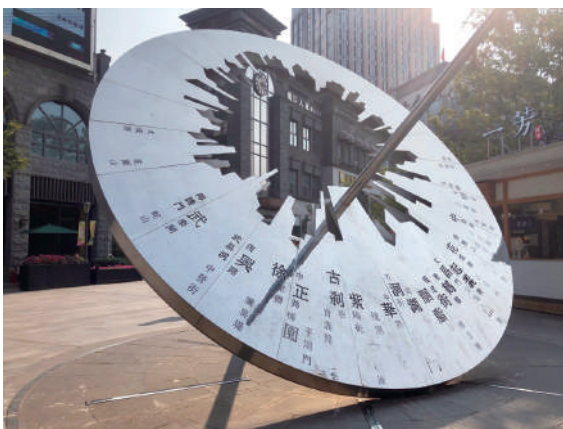
【章さんの出身地はどちらですか？】

武漢です。皆さん聞いたことがありますか？（笑）武漢は湖北省の省都であり、総面積8,494km²、中国華中地区地方における最大の都市です。中国の中央よりやや東よりのところにあります。人口はおよそ1千万人です。ほかの地域と比べると湖が多く、100以上もあって、水に覆われている面積は市総面積の4分の1を占めています。



【武漢の歴史を感じるお勧めスポットはどこですか？】

悠久な歴史をもつ武漢では、「武漢三鎮」と呼ばれる武昌、漢口、漢陽という三つの地区があります。昔から交通や商業の要衝として栄え、日本の皆さんがよく知っている「三国志」の舞台として有名です。ほかに歴史的名所としては、黄鶴楼（江南三大名楼の一つ）、東湖（中国国家級の風景区）、五百羅漢及び玉仏、帰元寺（悠久なる歴史で有名）、古琴台（高山流水で知音が見つかる）、などが有名です。ちなみに唐代の詩人李白、中国の国家主席毛澤東などの有名人も武漢で詩を詠んだことがありますよ。



【武漢の美味しい料理を教えてください！】

武漢で一番有名なのが「過早」（朝を過ごすという意味）と呼ばれる朝食文化です。特に日々忙しいサラリーマンや学生などにとっては毎日違う美味しい朝食を取るのを楽しみの1つです。「過早」の種類は豊富で、熱干面（蔡林記の熱干面）、スープ入り肉まんじゅう（四季美の湯包）、三鮮豆皮（老通城豆皮）、面窩、糊湯粉など、バリエーションが豊かです。武昌魚、スペアリブとレンコンのスープ、壺の鶏肉スープ（小桃園のかめ鶏スープ）、歓喜団子、カモの首肉（武漢鴨脖）などの美味しい料理もありますよ。お土産だと、私の大好物の生の蓮の実もお勧めです。蓮の種がまだ青い状態で収穫し乾燥する前のものです。湖が多いからこそ、蓮の花が咲いている時期にたくさん取れます。乾燥する前の本来の甘味を楽しむことができますよ。

【若者に人気のスポットなどはありますか？】

もちろんありますよ。例えば曇華林。中国式や西洋式の古い建物、青石板路や有名人の旧居など色々あります。曇華林は、文化の起源であり、スピードの速い時代において、スローライフとレジャーの楽園のような場所です。湖北省の一番古いキリスト教堂、小学校があり、多くのカフェなどは若者の中で大変人気があります。夜景がとても綺麗な川沿いの商業施設で有名なブランドが入るロマンチックな建築物が立ち並ぶ「楚河漢街」、ハッピーバレーと呼ばれる木造のジェットコースターのある「歡樂谷」、ヨーロッパ風の街並みでいつも混雑している「光谷步行街」などもお勧めです。自分で調べて行くのも楽しいですが、機会があればぜひ地元の人に案内してもらって、武漢観光に行ってみてください。



Instagram (https://www.instagram.com/chiba_international_center/)、Twitter (https://twitter.com/chiba_ccb_ic) 始めました！「千葉県国際交流センター」で検索して、ぜひフォローしてください。



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-8501 千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンD棟14階
TEL:043-297-0245 FAX:043-297-2753 E-mail:ied@ccb.or.jp

事務所が
移りました!

<https://www.mcic.or.jp/へgo!>

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)